



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,576	△8.3	602	△37.1	849	0.8	333	△29.5
28年3月期第2四半期	22,448	5.1	958	108.6	842	46.5	472	100.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △688百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 347百万円 (58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.06	—
28年3月期第2四半期	11.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	51,392	28,323	51.3	637.29
28年3月期	55,244	29,401	49.6	662.46

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 26,378百万円 28年3月期 27,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	7.00	7.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	△2.5	1,900	△15.7	2,000	0.3	1,600	33.0	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	45,229,332株	28年3月期	45,229,332株
29年3月期2Q	3,837,022株	28年3月期	3,836,253株
29年3月期2Q	41,392,791株	28年3月期2Q	41,394,325株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が総じて堅調に推移したものの、中国経済の減速や英国の欧州連合(EU)離脱問題などにより先行きは不透明感が強まりました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善傾向が続きましたが、個人消費の停滞や円高の進行により企業収益の改善に足跡が見られました。

当社グループの主需要先である建設・建築業界では労働力不足による建設工事の遅れ、造船業界・産業機械業界では世界的に市況の悪化が見られるなど、厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりましたが、その効果は限定的なものとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は205億76百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益は6億2百万円(同37.1%減)、経常利益は8億49百万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億33百万円(同29.5%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月に大阪で開催された「2016国際ウエルディングショー」に、定尺ハウジングタイプのファイバーレーザー切断機「FIBERTEC-Zシリーズ」を出展するとともに、「ウエルハンディ ミニ ストロング」や「ウエルバート」などの新型溶接台車にて高品質溶接用混合ガス「スーパーシールド」を用いた実演などを行うことにより、ガス・溶接・切断の一体販売を目的としたPRを実施し、受注につなげることができました。また、5月にKOIKEテクノセンターにおいて開催した「2016ステンレスプライベートフェア」に、新型のステンレス用ドリルを搭載したプラズマ切断機を出展するとともに、国内各地で開催した「こいけ市」にポータブルNC切断機などを出展し、好評を得ることができました。さらに、器具・自動機の一括受注を目的とした利益還元セールを行い、受注活動を推進しました。

海外においては、中国の造船所からの大型案件について受注を獲得することができました。また、アジア向けに海外現地法人にて製造したNC切断機の拡販活動を行い、多くの受注を獲得することができました。さらに、海外グループ各社の更なる経営体質強化、既存製品のコストダウン、市場のニーズに合った新製品の販売を推進しましたが、造船業界や産業機械業界での世界的な市況の低迷により厳しい状況が続きました。

生産面においては、部品の纏め発注および計画生産の開始や仕様の標準化によるコストダウンを推進しました。また、市場の様々なニーズへ対応するために、ファイバーレーザー切断機の更なる改良や出力が300Aのプラズマ切断機の開発を推進しました。

その結果、売上高は85億30百万円(前年同期比16.5%減)、セグメント利益は4億66百万円(同39.8%減)となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、「2016国際ウエルディングショー」や国内各地で開催した「こいけ市」などに溶接作業効率向上・コストダウンに寄与する溶接用混合ガスやガス混合装置を出展し、好評を得ることができました。また、販売店向けの講習会を開催するとともに、引き合い先に対して積極的な営業活動を行い、新規顧客の獲得に努めました。さらに、ガス機器については大型の充填設備などの受注が増加し、売上を伸ばすことができました。

しかしながら、工業用ガスでは一部の業種で回復の兆しは見られるものの、依然として鉄鋼・産業機械関連における需要が低迷しており、酸素・窒素などの主要ガスの販売量は低調に推移しました。

生産面においては、引き続きガス製造工場の保安徹底と安全確保にむけた取組を進めるとともに、安全基準の見直しや設備のメンテナンスおよび更新を行い、安定供給・品質確保・原価低減に努めました。

医療分野においては、主力製品であるディスポ吸引ライナーの売上を堅調に伸ばすことができました。また、営業活動の強化によりCPAP(持続陽圧呼吸器)のレンタル契約を伸ばすことができました。しかしながら、酸素濃縮器については更新需要が旺盛だったことにより、販売件数は昨年を上回る実績となりましたが、レンタル契約単価が下落したことにより、収益は低迷しました。

その結果、売上高は78億11百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は4億42百万円(同4.1%減)となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、「2016国際ウエルディングショー」において、小型の溶接機・切断機の実演や安全保護具のPRを行うとともに、新型マグネット「PLSシリーズ」を出展しました。また、輸入商材である金属補修材の営業活動の強化や取扱商材の拡充を行うとともに、溶接機器・マグネット・安全器を対象とした「サマーセール」の実施や国内各地で開催した「こいけ市」にて溶接用液晶保護面および安全器商品を出展し、拡販活動を行いました。さらに、主要商材を対象として予実管理を徹底し、販売管理体制の強化を行いました。

しかしながら、主需要先である建設・建築業界では一部に需要回復の兆しが見られたものの、各種工事の遅れなどによる溶接機・溶接材料の需要減少や輸出向け安全器の出荷減少により、昨年を下回る販売量となりました。

その結果、売上高は40億74百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント利益は1億3百万円（同18.4%減）となりました。

その他

その他の部門においては、ヘリウム関連機器の品質向上・原価低減に取り組むとともに、大学研究機関を中心に積極的に営業活動を行いました。また、ヘリウム液化機1台の受注にとどまりました。また、機器の保守・定期点検などについて継続的に営業活動を行いました。

排ガス処理装置については、中国市場での大型液晶向けの需要に対して価格競争の激化により受注を伸ばすことができませんでしたが、今後の受注獲得を目指し、台湾の販売代理店に駐在員としてセールスエンジニアを派遣しました。

その結果、売上高は1億60百万円（前年同期比49.2%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント利益21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**①資産、負債及び純資産の状況**

当第2四半期連結会計期間末の総資産は513億92百万円で、前連結会計年度末比38億51百万円の減少となりました。

流動資産合計は287億71百万円で、前連結会計年度末比35億16百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が5億41百万円減少、受取手形及び売掛金が20億53百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は226億20百万円で、前連結会計年度末比3億35百万円の減少となりました。これは主に建物及び構築物が2億93百万円減少したことによるものです。

流動負債合計は177億21百万円で、前連結会計年度末比23億88百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億79百万円減少、電子記録債務が3億42百万円減少、未払法人税等が3億72百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は53億48百万円で、前連結会計年度末比3億85百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が2億25百万円減少、役員退職慰労引当金が51百万円減少したことによるものです。

純資産合計は283億23百万円で、前連結会計年度末比10億78百万円の減少となりました。これは主に為替換算調整勘定が10億15百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は51.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は80億22百万円で、前連結会計年度末に比べ6億56百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは14億73百万円の収入（前年同期は10億95百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費と売上債権の回収によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは5億27百万円の支出（前年同期は3億46百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは11億33百万円の支出（前年同期は9億58百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出と配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。詳細につきましては、「平成28年3月期決算短信」3ページ 1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析 (2) 次期（平成29年3月期）の見通しを参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,425	8,883
受取手形及び売掛金	13,809	11,756
商品及び製品	4,579	4,223
仕掛品	1,568	1,505
原材料及び貯蔵品	1,872	1,531
その他	1,255	1,050
貸倒引当金	△222	△178
流動資産合計	32,288	28,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,139	3,845
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,294
工具、器具及び備品(純額)	436	344
土地	10,177	10,140
リース資産(純額)	1,110	1,214
建設仮勘定	216	434
有形固定資産合計	17,617	17,274
無形固定資産		
のれん	32	40
リース資産	14	15
その他	241	228
無形固定資産合計	287	284
投資その他の資産	5,051	5,062
固定資産合計	22,956	22,620
資産合計	55,244	51,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,450	6,971
電子記録債務	3,560	3,218
短期借入金	3,757	3,486
1年内返済予定の長期借入金	1,070	849
1年内償還予定の社債	20	—
未払法人税等	580	207
賞与引当金	565	396
役員賞与引当金	75	30
受注損失引当金	12	30
製品保証引当金	75	59
関係会社整理損失引当金	1	—
その他	2,940	2,471
流動負債合計	20,109	17,721
固定負債		
長期借入金	1,159	933
役員退職慰労引当金	212	161
退職給付に係る負債	141	153
資産除去債務	14	14
その他	4,205	4,084
固定負債合計	5,733	5,348
負債合計	25,843	23,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,354
利益剰余金	18,595	18,555
自己株式	△917	△917
株主資本合計	24,063	24,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	996	1,016
土地再評価差額金	1,272	1,272
為替換算調整勘定	989	△26
退職給付に係る調整累計額	100	95
その他の包括利益累計額合計	3,358	2,358
非支配株主持分	1,980	1,944
純資産合計	29,401	28,323
負債純資産合計	55,244	51,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	22,448	20,576
売上原価	16,356	15,032
売上総利益	6,091	5,544
販売費及び一般管理費	5,133	4,941
営業利益	958	602
営業外収益		
受取利息	13	7
受取配当金	38	47
受取賃貸料	59	78
持分法による投資利益	23	28
物品売却益	17	12
為替差益	—	48
貸倒引当金戻入額	22	56
その他	17	42
営業外収益合計	191	322
営業外費用		
支払利息	57	42
賃貸費用	15	19
為替差損	213	—
その他	20	13
営業外費用合計	307	75
経常利益	842	849
特別利益		
固定資産売却益	53	9
その他	0	—
特別利益合計	53	9
特別損失		
固定資産除売却損	30	2
減損損失	10	12
関係会社株式評価損	—	144
関係会社整理損失引当金繰入額	99	—
その他	—	3
特別損失合計	140	163
税金等調整前四半期純利益	755	695
法人税、住民税及び事業税	486	144
法人税等調整額	△291	147
法人税等合計	195	291
四半期純利益	560	403
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	472	333

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	560	403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	25
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	204	△1,113
退職給付に係る調整額	△19	△4
その他の包括利益合計	△212	△1,092
四半期包括利益	347	△688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238	△666
非支配株主に係る四半期包括利益	109	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	755	695
減価償却費	689	708
減損損失	10	12
のれん償却額	7	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	26	112
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△144
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	△45
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	19
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△6	△11
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	99	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△51
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△19	17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	7
受取利息及び受取配当金	△52	△55
支払利息	57	42
持分法による投資損益 (△は益)	△23	△28
固定資産除売却損益 (△は益)	△23	△6
関係会社株式評価損	—	144
売上債権の増減額 (△は増加)	989	1,656
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△514	225
仕入債務の増減額 (△は減少)	△328	△812
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△188	△39
その他	157	△481
小計	1,537	1,971
利息及び配当金の受取額	60	62
利息の支払額	△62	△50
法人税等の支払額	△439	△511
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095	1,473

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,241	△758
定期預金の払戻による収入	1,283	729
有形固定資産の取得による支出	△732	△390
有形固定資産の売却による収入	412	32
無形固定資産の取得による支出	△62	△37
投資有価証券の取得による支出	△12	△65
投資有価証券の売却による収入	—	7
貸付けによる支出	—	△60
貸付金の回収による収入	6	6
その他	—	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346	△527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	36	△41
長期借入れによる収入	157	100
長期借入金の返済による支出	△546	△547
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△289	△289
非支配株主への配当金の支払額	△22	△22
その他	△273	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△958	△1,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△202	△656
現金及び現金同等物の期首残高	8,166	8,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,963	8,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,215	7,595	4,321	22,132	316	22,448	—	22,448
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,215	7,595	4,321	22,132	316	22,448	—	22,448
セグメント利益	774	461	127	1,363	21	1,384	△426	958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△426百万円には、セグメント間取引消去69百万円、のれんの償却額7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△517百万円、棚卸資産の調整14百万円、その他の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,530	7,811	4,074	20,415	160	20,576	—	20,576
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,530	7,811	4,074	20,415	160	20,576	—	20,576
セグメント利益 又は損失(△)	466	442	103	1,013	△6	1,006	△404	602

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540百万円、棚卸資産の調整89百万円、その他の調整額△10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	7,325	80.2
高压ガス (百万円)	184	106.3
報告セグメント計 (百万円)	7,509	80.7
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	7,509	80.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	5,293	69.0	3,979	62.5

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	8,530	83.5
高压ガス (百万円)	7,811	102.8
溶接機材 (百万円)	4,074	94.3
報告セグメント計 (百万円)	20,415	92.2
その他 (百万円)	160	50.8
合計 (百万円)	20,576	91.7

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。